

## 特別支援学校 × 学生団体「おりがみ」



「おりがみ」の学生と特別支援学校の生徒と一緒に聖火をつなぎました

県内の大学生を中心とした学生団体「おりがみ」は、大学生と特別支援学校の生徒が交流する「パラスポーツプロジェクト」を進めてきました。特別支援学校を訪ね、交流会やボランティア活動を生徒と一緒にすることで、生徒がもつ多様な個性や熱意を発信する活動を続けています。

**パラスポーツをヒントに**

「おりがみ」の学生たちは、最初は障害のある子どもへの支援や関わり方を知らない「素人」だったといいます。注目したのはパラスポーツ。「パラスポーツには障害の大変さや特徴を参加者がわかりやすく体験できる工夫がある」ことに着目し、パラスポーツを参考に、体を動かすあそびを自分たちで考え、交流に取り入れました。

特別支援学校の生徒たちと一緒に開催した運動会では、手作りの玉入れ競争や、ラグビーボールを使ったリレーで、障害の有無や年齢の差も関係なく、みんな一緒に楽しむことができたそうです。



### 交流を振り返って



県立八日市場特別支援学校  
高橋羽音さん

おりがみの皆さんとはみんなで集まって、いろいろなスポーツをやりました。初めての人と話すのに緊張しましたが、一緒にシッティングバレーをやったのが一番楽しかったです。聖火ランナーに選ばれたことは、貴重な経験になりました。

**個性に合わせたコミュニケーション**

活動に取り組んできたある学生は、「一言に障害といっても、その種類も程度も、もちろん性格も人それぞれ違うことに改めて気づいた」といいます。発語が難しい生徒には表情でコミュニケーションをとったり、耳の聞こえづらい生徒にはゆっくり大きな声で話したり。一人一人の個性に合わせた工夫をすることで、お互いの「伝えたい」という気持ちを感じ取れるようになり、「心が通じた」と感じられたそうです。

**「支援する・される」の関係を越えて**

パラスポーツプロジェクトの目標は、障害がある人となない人が「支援する・される」の関係ではなく、当たり前を支えあう「友だち」になること。今後も一緒に手話を学んだり、ボランティア活動を行ったりと、さまざまな活動を続けていくそうです。

学生団体「おりがみ」について、詳しくはホームページをご覧ください。

**学生団体「おりがみ」** **検索**

## 体験してみよう

### パラスポーツフェスタちば2021

パラスポーツの体験会とチーム対抗戦を通じて、パラスポーツの魅力を体感できるイベントです。年齢や障害の有無、スポーツの得意・不得意に関わらず、どなたでも楽しめます。また、会場内では、千葉県ゆかりの選手等の東京2020パラリンピックでの活躍をパネル写真で紹介します。

※感染拡大防止のため、イベントの中止、または内容を変更する場合があります。最新の情報は県ホームページをご確認ください。

**日時** 11月23日(火・祝)10時～17時30分  
**会場** 千葉ポートアリーナ(千葉モノレール市役所前駅から徒歩8分)

#### ▶ 体験会 (10時～12時30分)

東京2020パラリンピックの千葉県開催競技である、ゴールボール、シッティングバレーボール、テコンドー、車いすフェンシングを含むパラスポーツ8競技の他、シーソー玉入れなど手軽に体験できる新しいスポーツ「ゆるスポーツ」の体験会(先着500人)。

気軽に体験

#### ▶ 対抗戦 (13時30分～17時30分)

シッティングバレーボール(先着9チーム、1チーム6～8人)とボッチャ(先着40チーム、1チーム3～5人)の対抗戦。

チームで参加

**申込方法** 専用の応募フォームから申し込み  
**締め切り** 11月16日(火) (申込先着順)  
**問い合わせ**



パラスポーツフェスタちば2021運営事務所 ▲体験会申込み ▲対抗戦申込み

TEL 050-3172-2021 E-mail info@parasports-festa-chiba.com

**パラスポーツフェスタちば2021** **検索**

### 千葉県内の2校がパラリンピック閉会式で表彰!

東京2020パラリンピック閉会式で、「I'm POSSIBLEアワード」開催国最優秀賞に木更津市立清見台小学校、開催国特別賞に県立東金特別支援学校が選ばれ、表彰されました。「I'm POSSIBLE」には、「不可能(Impossible)」



木更津市立清見台小学校

と思えることも、ちょっと考えて工夫すればできる(I'm possible)」というパラリンピック選手たちが体現するメッセージが込められています。バリアフリーについての学びやパラスポーツの普及など、共生社会の実現に貢献する活動が評価されました。

**アイムポッシブルアワード** **検索**

## 感動をありがとう

### 東京2020パラリンピック 千葉県ゆかりの選手が活躍



車いすテニス  
シングルス(金)  
国枝 慎吾 選手(柏市出身)

日本選手団の主将として臨んだ東京パラリンピック、関係者の皆様、声援を送っていただいた皆様に心から御礼申し上げます。自分自身が全力のパフォーマンスをすることで、パラスポーツの魅力を伝えたいと思っていましたが、少しでもその思いが伝わっていたら嬉しいです。引き続き、皆さまにはパラスポーツに注目し、関心を持ってもらえれば嬉しいです。

※他の選手のコメントは、ちば県民だよりのホームページ版で紹介しています。

- バドミントン シングルス(金)／ダブルス(金)  
里見 紗李奈 選手(八街市出身)
- 水泳 100m自由形(金)／50m自由形(銀)／200m自由形(銀)  
50m平泳ぎ(銅)／150m個人メドレー(銅)  
鈴木 孝幸 選手(千葉県在住)
- ボッチャ 混合ペア(銀)／高橋 和樹 選手(千葉商科大学卒)
- 車いすバスケットボール(銀)／  
川原 凜 選手(千葉県在住)・香西 宏昭 選手(千葉県在住)
- バドミントン シングルス(銅)／混合ダブルス(銅)  
杉野 明子 選手(市原市出身)
- バドミントン ダブルス(銅)／村山 浩 選手(四街道市出身)
- 陸上競技 ユニバーサルリレー(銅)／鈴木 朋樹 選手(館山市出身)
- ボッチャ 混合チーム(銅)／廣瀬 隆喜 選手(君津市出身)
- 柔道 70kg級(銅)／小川 和紗 選手(市原市出身)
- 車いすラグビー(銅) 池崎 大輔 選手(浦安市在住)  
今井 友明 選手(我孫子市出身)・羽賀 理之 選手(松戸市出身)